

洗面化粧台の種類



システムタイプ

一般的な据え置き型の洗面化粧台。洗面ボウルと鏡、収納キャビネット、照明器具、水栓金具などで構成されます。最近では据え置きタイプもデザインや機能のバリエーションが多様です。システムタイプの様に収納ユニットなど組み合わせが出来る商品が多く、空間プランに合わせてコーディネートする事が可能です。



カウンタータイプ

カウンターや洗面ボウル、水洗金具など様々な組み合わせをオリジナルで作る洗面台。高さや間口なども自由に決められ、デザインにもこだわりがある方にはオススメ。収納や鏡もこだわりのものを取り付けられます。

ユニットタイプ

システムキッチンと同じ様に、カウンターや洗面ボウル、扉材、水栓金具など自由に選び組み合わせる事が出来るタイプ。洗面室の壁面や空間ボリュームに合わせて組み合わせる事で、オリジナルな洗面スペースを作る事が出来ます。収納の充実を図ったり、洗濯スペースとコーディネートを計ったりする場合があります。



洗面化粧台の選び方

一般的に普及しているユニットタイプの洗面化粧台も色々な種類があります。サイズや機能など、使いやすい洗面化粧台の選び方のヒントをご紹介します。



間口で選ぶ

間口とは、洗面台が設置されている幅のことです。ユニットタイプの洗面化粧台には60cm・75cm・90cmのサイズがあり、よく使用されているサイズは60cmと75cmです。同じサイズで取替する場合がほとんどですが、洗面所のスペースにゆとりがあればサイズを大きくすることも可能です。



60cm



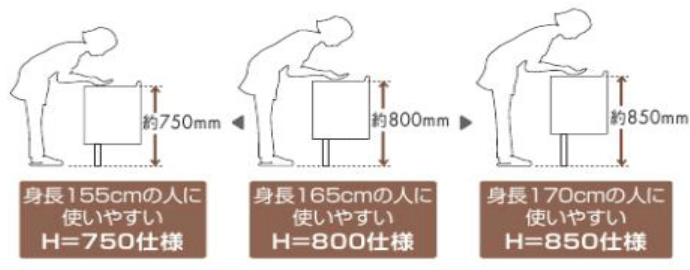
75cm



90cm

高さで選ぶ

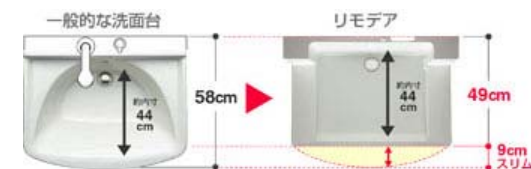
高さは使いやすさで選べる3タイプ



使われる方の身長に合わせて洗面ボウルの高さを選べる化粧台もあります。基本は80センチの高さですが、洗面台の前に立った時、蛇口に自然に手を伸ばした状態の肘の高さより低くなる高さが目安です。

奥行きで選ぶ

洗面化粧台の奥行き寸法は以前に比べると長くなり、55～60cmが多くなっていますが、限られたスペースを有効に活用できる、奥行きが浅いタイプの商品も増えてきました。洗面所の広さや使い勝手に合わせてお選びください。



化粧台のタイプで選ぶ

洗面化粧台も、キッチンのように、収納しているモノがわかりやすく、奥のものを出し入れしやすい引き出しタイプの収納が多くなってきました。収納されるものや、容量に合わせて使いやすいものをお選びください。※間口60cmのタイプは、扉タイプのみになります。

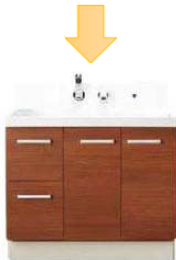
扉タイプ

大きなものもしっかり収納できるベーシックタイプ



引き出しタイプ

背の高いものと、ボトルや小物を分けて収納



フルスライドタイプ

奥までしっかり収納できて出し入れもラクラク



鏡で選ぶ

一面鏡

真中に鏡があり、両サイドが収納になっている最も一般的なタイプです。真中の鏡の部分が収納になっているタイプと、そうでないものがあります。



二面鏡

間口が60cmの洗面台のタイプとセットになる場合、三面鏡ではなく二面鏡になります。鏡裏の収納は、片袖のみ収納のタイプと、両方収納のタイプがあります。



三面鏡

三面鏡は全面鏡裏収納が付いているので、小物が片付いてすっきり見えます。両開きになると顔の近くまで引き寄せられるのでメイク時に重宝します。



ボウルの種類で選ぶ

陶器



細かいキズが付きにくく、長期の使用でも美観が損なわれにくい。硬いものをぶつけると割れたりひびが入ることもあります。

人工大理石



カラーバリエーションが豊富で、成形の自由度が高いことから最近よく使用されるようになりました。割れる心配は少ないですがキズは付きやすいです。

ホーロー



傷にも強く、酸やアルカリにも強いですが、表面のガラス層が欠けてしまうとサビが発生する場合があります。

水栓タイプで選ぶ

2ハンドル水栓



お湯と水のハンドルをそれぞれ調整することで水量と温度を合わせるタイプ。

ハンドシャワー水栓



上下で水量を、左右で水の温度を調整するタイプ。

シングルレバー混合栓



シングルレバー水栓に、ホースを引きのばして使えるハンドシャワーが付いたタイプ。洗髪やボウルの掃除に使えます。